

発展に向けて

宮城産業人クラブ(工藤治夫会長＝工藤電機会長)は日刊工業新聞社と共催で、8月22日に「若生正博宮城県副知事を囲む産官交流懇談会」を仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で開催した。東日本大震災から4年目を迎え、復興の進捗状況や放射光施設の誘致に向けた取り組み、海外ビジネスの支援策など県内産業の振興に向けた宮城県への施策について若生副知事に聞いた。

若生正博宮城県副知事を囲む 産官交流懇談会

ごあいさつ



宮城県副知事
若生 正博氏

「富県戦略」で持続的な発展へ

東日本大震災から3年5カ月が経過しました。この間、村井嘉浩知事の陣頭指揮により、創造的な復興、将来への持続的な宮城の発展を目標に復興事業を着実に進めてまいりました。しかし、7万7000人を超える方々がまだ仮設住宅や民間の借上住宅での生活を強いられ、約8000人の方々が県外に避難しています。今年大きな課題は被災者の生活支援、そのための基盤となる新しいまちづくり、生活を支える産業再生の加速です。復興関連の工事が現在ピークを迎えており、用地交渉の難航や、人手不足が顕著になっています。国には平成23年からの5年を集中復興期間と位置付けていただき、25兆円を確保していただき、5年を経過した後、財源がどうなるか不明です。現状では、とも5年以内にすべてが終わるという状況はありませぬので国に対して28年度以降もしっかりと財源を確保していただくをお願いしています。加えて大事なことは、復興の先にある宮城の姿です。持続的な発展に向けた種まきや仕掛けづくりや条件づくりを同時にやらずにはなりません。この中

二つ目は一次産業から三次産業までを見据えた観光を意識した産業を作っていくということです。三つ目は、やはり第一次産業の振興です。今まではどちらかというと売り上げ重視でしたが、売り上げではなく利潤を意識したブランド化が必要であり、まさにその点で富県戦略はますます重要なものとなってきています。さらに将来に向けた大きなプロジェクトとしては、仙台空港の民営化、東北放射光施設整備、ELCなどがありますが、未来に続く技術基盤を定着させていくことが重要です。また、復興の先にある宮城の発展には民の力が欠かせません。本日は皆様方からのいろいろなご意見をうかがいたいと思います。

出席者		(敬称略)	
宮城県副知事	若生 正博	宮城県経済産業観光部	今野 佳浩
宮城県推進室長	齋藤 巖	新産業振興課長	吉田 信幸
企業復興支援室長	齋藤 巖	自動車産業振興室長	佐々木 均
参事兼商工経営支援課長	松田 茂	産業人材対策課長	千葉 正広
雇用対策課長	本田 弘之	海外ビジネス支援室長	猪股 多恵子
〈質問者〉			
工藤電機会長	工藤 治夫	岩機ダイカスト工業会長	齋藤 吉雄
通研電気工業社長	大山 隆一	東栄科学産業最高顧問	山城 功
梶原電気社長	梶原 功	〈日刊工業新聞社〉	佐野 友昭
専務	阿部 義秀	〈司会〉	
日刊工業新聞社仙台総局長		阿部 義秀	

モノづくり産業の復興

工藤電機会長

工藤 治夫氏

モノづくり産業の復興についてお話しします。東日本大震災から4年目を迎え、今年度からは再生に向けた取り組みが加速すると思います。沿岸部ではようやくかさ上げが終了しつつあり、これから施設整備に取り組み企業も出てくるでしょう。沿岸部の企業の中には販路が途絶え、取引を震災前の水準に戻すには時間と労力を要すると思います。復興の加速に向けた中小企業に対する支援策、融資制度や



若生副知事 ますまち

販路の開拓についての具体的な支援策をお聞かせください。津波復興拠点整備事業は、役所や防災拠点のような公的施設の整備のため、全ての土地を買いあげて造成するものです。公共施設の大移動がなまづくりを進めるもので、南三陸町ではこの手法を活用しています。現在8市町12地区が対象となっていますが、事業認可は6地区、うち着工は6地区、ようやく50%が着工した状況です。この事業は所有者との合意形成や用地交渉が非常

自動車産業参入加速に向けて

岩機ダイカスト工業会長

齋藤 吉雄氏

自動車産業参入加速に向けて、モジュールで製品を組む手法を模索する動きがあります。トヨタ自動車東日本が設立して2年が経過しました。石巻地区では大倉工業、サトウ機械、堀尾製作所、丸本組などの技術支援の取り組みが実施されています。この4企業が連携し、モジュールで製品を組む手法を模索する動きがあります。トヨタ自動車東日本が設立して2年が経過しました。石巻地区では大倉工業、サトウ機械、堀尾製作所、丸本組などの技術支援の取り組みが実施されています。この4企業が連携し、モジュールで製品を組む手法を模索する動きがあります。



若生副知事 自動車産業参入の手法には、中

補助事業や融資実施 相談センター活用を

に難しく、東北の沿岸部は用地が少ないため、地価も上昇しており、国が想定した金額より多額の補助金が必要になる。宮城県では、被災した中小企業等への支援については、中小企業等グループ施設等復興整備補助事業により、これまで2100グループ、3732社に対し、約2326億円を交付決定しました。懸念材料は、資材の高騰ですが、今年から資材高騰分について、これから着工する一定の業の方に対し、一定の要件をクリアすれば補助することになりました。融資制度については、「みやぎ中小企業復興特別基金」を創設し、限度額8000万円、貸付額8000万円、移動促進事業で整備されています。これは195地

県外ともマッチング 受注獲得の機会提供

とが大事だと思っています。また、技術力や人材育成も大切です。宮城県では7人の自動車関連メーカーのOBの方々にアドバイザーとして就任していただいております。技術の「売り」を調べ、希望を聞いて県外の企業に、アイデアをフィードバックし、生産改善などの技術向上の指導もいただいております。名古屋事務所にもOBの方々がいます。企業側のニーズを聞いてあげ、事業を行っていただきます。また中京地区へ出向き

創造に生き明日を考える

MITSUHIKI
MITSUHIKI CREATIVE TECHNOLOGY

素材開発
加工開発
機器分析

三ツ引興業株式会社
〒984-8651 宮城県仙台市若林区卸町3-4-8
TEL : 022-284-6191 FAX : 022-284-2026

信頼と和で築く確かな未来

株式会社 阿部和工務店

代表取締役社長 船山 克也
代表取締役副社長 土岐 春夫

仙台市青葉区上杉一丁目17番18号 銅谷ビル
☎ (022) 264-0411(代)
URL <http://www.abekazu.co.jp>

結ぶ 見まもる 創りだす

システムの開発から、設計・製造・工事・保守までお客様にご満足いただけるICTソリューションを提供いたします。

Taiken
東北電力企業グループ
通研電気工業株式会社

〒981-3206 仙台市青葉区明通3-9 (東パークタウン工業流通団地内)
TEL 022-377-2800(代) Fax 022-377-9217 <http://www.2ken.co.jp>
●支社：青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟

LED照明で環境・省エネをお手伝いし
CO2削減で社会貢献をご提供いたします

K.E.C 梶原電気株式会社

代表取締役 梶原 功

〒984-0014 宮城県仙台市若林区六丁目の目元町13-16 (仙台工業団地内)
TEL (022) 288-9210 FAX (022) 288-9232
<http://www.k-e-c.co.jp> E-mail: kajiwara@k-e-c.co.jp

時代のニーズに即応した
岩機の製品

アルミ・亜鉛
ダイカスト製品
鉄・ステンレス・チタン
モルダロイ製品(MIM)

岩機ダイカスト工業株式会社

〒989-2204 宮城県亘理郡山元町鷺足山崎51の2
Eメール info@iwakidc.co.jp
TEL (0223) 37-3322(代) FAX (0223) 37-3720

ホームページ <http://www.iwakidc.co.jp/>

質の高い天然ゼオライトが
健やかで快適な生活環境を提供します

呼吸性建材
脱臭乾燥剤
飼料添加材
土壌改良材
ペット用品猫砂
工業用吸着材
水処理材
床下調湿材

新東北化学工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区上杉一丁目4-10 庄建上杉ビル6F
TEL 022(225)2724 FAX 022(225)2725
MAIL postmaster@s-zeolite.com

<http://www.s-zeolite.com> 天然ゼオライト 検索

わが 技が奏でる調べに敏感。

研究技術開発の新領域をクリエイト

Technology Communication

株式会社 東栄科学産業

本社：〒982-0032 仙台市太白区富沢四丁目8番29号
TEL 022-743-3221(代) FAX 022-743-3235
<http://www.toei-tc.co.jp/>

今が、モノづくり革新の時。

様々な荒波を乗り越えた日本のものづくりを支えていきたい。

ハイパワー高精度直流スイッチング電源

新開発小型ハイパワースイッチング電源SPシリーズは、当社が長年培ってきた高精度直流安定化電源の開発技術を生かしハイパフォーマンスを実現させた直流安定化電源です。

●1KW type
●2KW type
●3.3K~10KW type
●10K~30KW type

工藤電機株式会社

■本社 〒982-0034 仙台市太白区西多賀三丁目1番5号
TEL 022-245-2141 FAX 022-245-2485
■名取事業所 〒981-1225 宮城県名取市殿野三丁目1番38号
TEL 022-382-3155 FAX 022-382-3124

<http://www.kudo-denki.co.jp/>